

---

# 夢不思議アドベンチャー

ラスト クリスタル

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

夢不思議アドベンチャー

### 【Nコード】

N5605Y

### 【作者名】

ラスト クリスタル

### 【あらすじ】

夢日記短編集をもとに原稿用紙にて

執筆してましたが、今回 摩訶不思議な夢を 一本の壮大なファンタジー小説にして投稿して見ました。 皆様が予想できない展開に

ハラハラさせられるでしょう

良い意味で裏切られるか 果たして真相は、 主人公 早乙女隆一が 自分や 他の人の夢を旅する異次元ファンタジー しかし 夢で見た話を小説にしてるだけ

夢日記ファンタジー小説 スピリチュアルパワーにより 夢を記憶できてるんぞ

観光旅行に出かけた早乙女隆一は、山で遭難してしまう  
その先に見たものは

これは、岡山県に住む 早乙女隆一が、実際に夢で見て体験した話である。2012年末、早乙女隆一の話を読み

一人の男が奇想天外な夢日記を、小説風あるいは、アニメチックにまとめた話である。

時は、2007年5月半ば 隆一は、一人で 九州の大分県あたりを3日間 旅する決意をした！

隆一は、多趣味で

食べ歩き お笑い 格闘技 アニメ ドライブが好きな 岡山県西部に住む 20代後半の男である。

彼は、アイプチ使いまくって 自然二重になった くっきりした瞳とシャギーベースの赤茶色ミディアムヘアと かつて

顔にあった ほくろをコンパスで つつき 今や ほくろ一つない 綺麗な肌と

細マッチョな体が特徴的だ！

隆一は、5月15日、日が差し込み始めた時間から出発して 「今日から3日間 楽しい旅行をするぞーっ」と 気合いの声を発した！

九州に行くまで 妹背の滝 弥永ダム プレイパーク蛇喰などの観光地を順調に巡り 観光ガイドブックに 載っている 標高7

00m以上の 三倉岳という 山のふもとの駐車場に到着した！

空は晴天、 雲一つない…

隆一は、これから起こる恐ろしい出来事など まだ何も 考えていなかった。

山のふもとのキャンプ場から 携帯電話だけ ポケットに入れない山道に登っていった！

一時間くらい経過しただろうか？

道らしき道が なくなり ロープが かけられてあったから それをつたって 山を登って行った！

その後、大きな岩が眼前に 幾つもある 岩をぐるりとかわしながら 歩きにくい道を歩いて頂上まで たどり着いた。「やったー！頂上だけ！さっそく写メ撮るおーっと！」

隆一は、素早く ポケットから携帯を 取り出し いろんな角度から写真を撮った！

三倉岳の頂上は、四方八方、山に囲まれ 遠くに、小さな集落が少しだけ 頂上から眺める事が出来た！

「意外と殺風景なんじゃなあ」

と つぶやきながら 隆一は、山の頂上にある岩道を歩いて

360 頂上の景色、山の雄大さを感じ楽しんだ。

15分位して頂上からの景色を見飽きた 隆一は、下山する事に決めた。

「げっげげ どうなっとなんじゃわわわ」 と後半 日本語にもならないような 意味不な言葉を発しながら 隆一は、半分 正気では いられなくなっていた！

なぜなら 下山するための道が わからなくなってしまったからだ！

隆一は、携帯を取り出し 親か友人かに助けを求めようとしていた！

一瞬 彼の脳裏にはレスキュー隊を 呼び出そうかと 携帯を握りしめたが、それは しなかった。

彼は自分で下山したいと願った！

いつもの事なら彼は気を取り乱し、叫びまくるだろうが 彼は冷静になっっていた。この時、彼は

神がかった何か宇宙からの特別な力が働いたのかもしれない。

道なき道を歌を歌いながら進む。

自分を信じ、未来を信じ、自分の帰りを 待っている仲間を信じ、決して 立ち止まり狼狽しなかった。最初の10分位は、安全

そんな草むらの 生い茂った道を歩いてしたが、なんと 道が途切れてしまった。

下には溪流が 流れており、そのほとりに道があるようだ。

しかし、その道を歩くならば 下の岩まで2mくらいか？足場が悪い所を 飛び降りなければならぬ。「僕は、負けない 恐怖心なんてない 精神を集中させてと！ とっつ！」

(心頭滅却すれば火も また涼し)ということわざのように、彼は無事に九州旅行をして 家に帰りたいたいという気持ちで

どんな困難が あろうが 生きて 下山する事に集中していたため 足を着地の時 少し負傷したが そんなのおかまいなしに 溪流を歩き始めた。

溪流道は、所々に、足場みたいな岩があるので、彼は靴の中 びしょびしょに なりながら、前へ 前へ 憶する事なく進んで行く

もし、日頃 運動していない人や 女性なら 間違いなく遭難してしまうような山を、隆一は、直感だけで 下山している。

1m以上の高さの岩へ飛び降りなければならぬ状況や 真ん中に 木があり 木を 猿みたいに掴んで、 飛び降りるシーンも 何回か あった。

「僕ってもしかしたらスポーツ選手より運動神経が良いかも？って おい！ 感心している場合かい！早く下山しなきゃなあ。あきらめたらそこでゲームオーバーだと 思うが 一体いつまでこんな道が続くの？」

彼は、汗と傷で いっぱいになりながら険しい道を進んで行った！しばらく進んでいったら 完全に溪流の道がなくなった。 隆一は、視野を広くもち、辺りを見渡した！尋常なら ここで助けを呼ぶかもしれないが 彼には 常識を覆す パワーが あったのだろうか？

自分の背丈と同じくらい草木の道を 歩いて 下山する事に 決めた。

何度 木の枝に 体をぶつけただろうか… 草木が なくなり、なぜか砂地へたどりついた。「しばらく ここで休もう」

隆一は、安堵の溜め息をついた。

「草だらけの 危険な道を出たんだ。

しかも今 下山している事は、間違いないぞ！よし携帯を開こう。」  
そう言っただけから携帯を取り出し、時間を確認しようとしたら 携帯の待ち受け画面に、20代後半から30代前半くらいの女性の姿が映し出され、隆一は 携帯の中へ吸い込まれてしまった。  
辺りは 真つ暗で 　なぜか満月だった。 「ここはどこだ！」

「フフフフ」隆一は、声のする後方を恐る恐る振り向いて見た。  
なんとそこには、長い銀髪 銀色のレオタードを着て くつきりした瞳 口角の やや上がった口 すつきり通った鼻筋 ターコイズブルーの体をした 女性が立っていた。 「えっ？あっ？がっ？」  
思わず 言葉を失った隆一！

女性は、隆一を強く見つめ「あなたは、これから夢の世界を旅してもらおう。 夢はあなたが 主人公の時もあれば、他人の夢の中の時もあるだろう。」 魔女みたいな女は、力強く隆一に 言った。 し ばし 沈黙していた隆一は、深呼吸して こう言った。

「僕は どうすれば夢の世界へ行っても脱出できるの？」

「あなたは、夢の中で私を倒さねばならない 　そして ドリームキ―を手に入れなければならぬ」

「ドリームキ―？」 「ドリームキ―とは、夢の世界から現実に戻るための必須アイテムだ！ どこにあるのかは わからない 　ただ、あなたは 　これから見る摩訶不思議な夢の中で 　探さねばならない 　だろう。それは、あなた自身の夢 　もしくは他人の夢のどこかにあるでしょうね」

半信半疑の気持ちの隆一は、なんとかこの場所を逃げ出そうとするが、辺りは月が照らす砂地しかない…。

「元の場所へは帰れないのか？」

「あなたは 大きな運命を背負っています さあ 私を見て！」

隆一は、女の言葉に反して目をつむろうとするが 不思議な力で目が開き 魔女と目が合う。魔女の目が光り、隆一は、光りが後頭部まで つらぬくような不思議な感覚に包まれた。そして魔女はなにやら呪文みたいな 言葉を ささやいたが 隆一には 届かなかった

隆一は まどろみ 夢の世界へおちていった。いきなり赤色のオーロラが現れオレンジに変わり そして黄色に変わり 緑になり 藍色に変わり 紫になって 頭頂部で はじめて 文字が空いっぱい に浮かんだ。 「自動睡眠開始」



夢日記ファンタジー小説 スピリチュアルパワーにより 夢を記憶できてるんぞ

愛の天使 や 人間外生物など 続々登場していきます。

夢日記短編集では語れない

後半の くだりは

有名ファンタジー映画のように 美しい

## 第二話 四月の恋物語（前書き）

夢不思議アドベンチャー

岡山県に住む 早乙女隆一は、三倉岳で遭難に合い  
危険な道を下山している時に、魔女と会う。そこで 魔女は、隆一  
を夢の世界へ誘いこみ

どこかの夢の世界で魔女を見つけて倒すか ドリームキーを 見つ  
けないと 永遠に眠り続けることになる。 遭難死＝永遠に眠り続  
けるのか

果たして現実世界に脱出できるのか

まず 隆一が見た夢は、2007年四月桜の季節に見た夢

お見合いパーティーを舞台にした コミカルな あるあるネタのよ  
うなテンポで 話は展開して行きます

## 第二話 四月の恋物語

ドリームキー 果たして 隆一は、いつ探し出す事ができるのか？ 夢不思議アドベンチャーという ある意味 天変地異を起こすであろう

ファンタジー世界の扉 夢の中の話の扉が今 開かれた！

眠りについて時空を旅して 隆一は、夢の世界へ…

時は、2007年桜も百花繚乱に咲き乱れる 四月初期お見合いパーティーに、友人の たかしと参加した。 お見合いパーティーでは、男性77人女性44人と なんだか不思議な人数で フリータイム式パーティーが行われていた。 いつになく積極的な 隆一は、たくさんの女性と会話してみたが、本当にフィーリングが合うのは 桜色ヘア なぜか 全身レトロなファッションで顔は、浜崎なんとか という超メジャーアーティストに すごく似てた！ 彼女の名前は、桜花子という奇天烈な 名前だった。

「さあフリータイムパーティーも あと二分で終了です！気になる方には 是非メッセージカードを渡して次につなげましょう。」と パーティー司会者の声が声高に木霊する。 隆一は、 手に汗握りながら、 勇気を出して 桜に メッセージカードを渡した。

心臓がバクバクして 今にも、飛び出しそうな感覚にとらわれる。

「今度、僕と花見に行きましょう。場所は夢桜公園です。」 顔を赤らめながら、隆一は、桜にメッセージカードを渡して 友人の たかしのもとに戻った！

そして パーティーは終了した。

「なあ隆一 お前 今回のパーティーNo.1人気の桜色ヘアの桜って 女の子にドレス教えてもらったんか？」

怪訝な表情で たかしは、隆一に問う。

「当たり前だのクラッカーさ！俺は、あの桜って女の子に かけてるのさ」

「バカだなあ隆一（笑）桜って子は、パーティー会社に雇われている サクラ に決まってるじゃん。」 隆一は、たかしの言った言葉が若干 気になったが 帰宅後、いきなり風呂場で携帯とにらめっこしながら こう言った！ 「桜がサクラ？そんな関係ないし でも名前からして怪しい。 でも俺は、彼女にメールするんだ。どうかエラーになりませんように。」

隆一は、祈りながら 半信半疑な気持ちで胸をさすりながら、そして興奮して 変なところまで触りながら、桜にメールを送った！なんと！いつもありがちなパターンのエラーではなく 桜にメールが届いた。しかし 2日間もメールが返ってこない！

3日後、なんと桜からメールが返ってきた。（お返事遅くなってごめんなさい！私 過去に、いろいろあつて素直にメール返せなかった！でも、あなたと仲良くなりたい あなたを知りたい）と桜から返事が来た。

隆一は、嬉しくて友人の半数以上に連絡した。そして隆一は、（僕も あなたを一目見た時から吸い込まれるようなオーラを感じました。）

メールがなかなか返ってこないから返事が返らない間に、またメール（ねえパーティーで かなり僕と共通点あったよね？） またまた返事が なかなか返ってこないままだから返事が来る前に隆一は、焦って またメール（あれ？返事ないなあ？写真送って）とか桜に 半分 ヤケクソな 気持ちでメールを送りまくった！

しかし隆一の空回りか 桜から また2日間返事がなくて心配して 親友の たかしに、電話した。

「俺さあ 桜って女の子にメールしてんだけど 返事が ないんよ」「そりゃあそうだよ 桜は パーティーに雇われサクラだからなあ」冷たくあしらわれた。

隆一は、しょぼんと落ち込んで 一人おぼろ月の出ている幻想的な

夜空を見上げていた。

そんな時、桜からメールの返事があった！（隆一さん 連絡遅くなつてごめんなさい！ 私 恥ずかしくてメール返せなかった！日曜日 朝の10時に 夢桜公園の一番大きな桜の木で待ち合わせしませんか？）なんと 桜からの誘いの連絡だった 隆一は、あまりに青天の霹靂な出来事に右往左往していた。

だが、彼をよく見ると うおーわおーって興奮して叫んでる姿が見られた。はたから見れば、隆一は、紛れもなく変人だろう。

そして、日曜日の朝 思いのほか早く目が覚めた。まだ早朝4時だった！ 今から、誰かにメールするわけもなく いてもたってもいられない気持ちで朝7時まで 布団の中で ワクワクしていた。

朝7時 朝食は、トーストとコーヒーとヨーグルトを食べ 鏡の前で「今日こそ俺はやるぞ！俺はかっこいい元気だ。」と暗示をかけて 約束の朝10時に、夢桜公園に間に合うよう少し早めに出発した。しかし、こんな時に限って信号が 絶妙なタイミングで、赤になるもんである。

「おい おい、何でやねん このタイミングで赤かあ〜」

一人で車内で わめきながら 遅刻は、絶対にやばいと考えながら 車を走らせた。はたまた、そんな時に限って あまりに慣れすぎているせいか油断していたのか定かではないが、いつも左折する道を少し通りこしていたので、慌ててUターンして、いつもの左折すべき道に戻った！その時の隆一の顔は、まるでキンなんちゃらマンに出てくる 阿修羅の仮面みたいに しわくちゃで、口角も への字に下がっていたようだ。何とか10時に夢桜公園の一番大きな桜の木に到着した。「はあはあ…」やはりプレッシャーも感じたのか

道中、予期せぬ 事態のせいか隆一は、既に少し疲れ気味だった！

隆一は、ドキドキしながら、桜が来るのを待っていた！30分待っても 来ないしメールもない。いちよう桜にメールしているのだが！すると隆一は、発作的に首が痛くなった！

「うぐわわ な なんだ」 一体 何が 起こったかは 定かではな  
いが 首が伸びた気がした。隆一は、目を疑った！首を長くして  
首を長くして 待ちくたびれ あまりに首を長くしていたの  
で……

…  
…  
キリンになつていた！隆一は、「これって夢か 現実か どっち？」  
と思わず叫んだら、ドッチボール転がして遊んでいた猫が二速歩行  
になり、いきなり 隆一に ドッチボールをぶつけてきた！する  
と あら不思議？隆一は、元の姿に戻れていた！「いったい俺は、  
どうしちまつたんだろ？」 結局11時がきた。それでも桜は、現れ  
なかった！「桜花子は、やはりパーティー会社に雇われた 盛り上  
げるだけ盛り上げといて雄どもを奈落の底に落とすサクラだったの  
かな？」と悲嘆に暮れていた！

帰ろうとした、その刹那的、桜からメールがあつた！（お返事出来  
なくて すいません！なぜなら私は、あなたの そばに 摩訶不思  
議な形で いますから）何やら訳のわからないメールだった！隆一  
は、待ち合わせの場所の大きな桜の花びらが 一枚 一枚 舞  
い散る様子を見ていた！すると予想外な出来事が起こった！上空が、  
あんなに晴天だったのに雲が空を覆い始めているでは ないか  
そして辺りは暗くなり 今にも雨が降ってきそうな天気だ！その時、  
上空が光った！ ピカピカドカーン なんと待ち合わせの大きな桜  
の木に落雷した。

「うわあゝ俺んとこに落雷せんで よかつたゝあぶねえ あぶねえ」  
と驚きつつ、大きな桜を見ると、な、なんと 桜の木の下に 桜花  
子の顔がくつついていた！隆一は、奇想天外な出来事に思わず声を  
失った！「こんな姿になつてすいません！私達の過去世 つま  
り、徳川の時代 あなたと私は激しい恋愛をしていて結ばれるは  
ずでした。しかし、あなた激似の隆一ノ助は、関ヶ原の戦いで、命  
を失い 私は、敵方の殿に嫁がされましたが、あくまでせいりやく  
結婚… 私は、既に あなたを失っていましたから、生きる希望を

失っていた！」そして桜は、大きな桜の中で、リアルに大きな目や口を開いて涙を 浮かべてこう言った！

「ある、五月雨の時期、夕方となり 帰り道 私は 落雷に合い命を落としました！しかし霊となつて生き続けていたのです！いつしか隆一という名の男が現世へ隆一ノ助の生まれ変わりとして あらわれる事を」

「えっ なら、なんで何百年も経っているのに俺が隆一ノ助の来世だとわかつたん？」隆一は、声を震わせた！ 「あなたが毎年 ここに訪れているのを知っていました！そう戦乱の時の隆一ノ助様と同じ匂い 同じ顔でした。そして、この桜の前で あなたは 友人と歩きながら お見合いパーティーに行きたいと 話してましたね」  
「確かに…」隆一は、目を丸くしながらうなづく！

「それから私は、毎年 四月に岡山で開かれる お見合いパーティーに参加していたのです！そして こないだ あなたに出会つた！隆一ノ助様に そつくりで どうしていいかわからず 真実を伝えたくとも伝えられませんでした！」 桜は、大粒の涙を流した。  
その時、天候が急に悪くなり 雨がザアザア降ってきた。

激しい雨と同時に桜の顔のある 大きな桜の花びらが 幻想的に一枚 一枚 まるで蝶が 上空を舞うように 散っていく。その時 夢か幻か季節はずれの春一番 ならぬ大きな風が吹いてきて、桜は、霊体の姿の前に現れた！

「隆一ノ助 会いたかつた」霊体となつた桜は、隆一に抱きつこうと するが、隆一の体を すりぬけるでも 隆一から桜を抱いた。すると不思議な事に 霊体である桜を抱きしめているではないか

まるで隆一ノ助が隆一に 世紀を超えて乗り移つた様だつた！ 桜は、kissをせまつてきた 隆一は、優しく唇に口づけした。

しばらく抱きしめたまま時が 経過した いつの間にか 空は再び晴天となり 太陽は、サンサンと輝き 雲の影から 赤 オレンジ 黄色 緑 青 紫 そして桜色 の虹が かかっていた

しかも 世紀を超えた奇跡が 起こり 太陽の輝きとともに 虹は  
もう一つ 現れた ダブルレインボーが  
隆一と霊体の桜を包み込む

柔らかな 春の風が二人を包む。

そうして しばらくして 隆一は あることに気づいた。

さっきまで抱いていた 桜の感触がない あるのは、ひとひらの  
大きな花びらだけだった。そして ひとひらの大きな花びらは、上  
空高く舞っていった！ なんて 切なく なんて はかない夢だつ  
たんだろう… この夢には 魔女も ドリームキーもなかったが

夢の世界を 体感した隆一は 次なる夢の世界へ 旅をするので

あつた！



## 第二話 四月の恋物語（後書き）

魔女を倒すか ドリームキーを探す冒険へ 夢の世界に 突入して  
いきなり お見合いパーティーからコミカルな演出そして、桜の季  
節におとずれる 夢の世界ならではのファンタジー

世紀を超えたラブストーリー

いきなり 最初の夢から濃い！ こんな濃い夢の話は まだ始ま  
ったばかり、果たして隆一は、現実世界にもどれるのか

### 第三話 不思議な鏡（前書き）

美観地区で 隆一と 健と 優香は、不思議なおじさんに不思議な力で 鏡を購入させられて その鏡を購入したゆえに不思議な体験を 三人は、体験するのであった！

### 第三話 不思議な鏡

不思議な鏡を手にした三人のエピソードを話していきたい。この物語の主人公隆一と サラサラヘアの背の高い男 健、とシヨートウルフのメイクの濃い女性 優香らが見て感じた話である。

この三人は、今までなんの共通点もなかったわけだ。

みんなビビビって電撃が走るような感じで友達になるのだが、不思議な事に三人みんな 桃色の縁に、星マークが散りばめられたデザインをした手鏡を持っていたのだ！

「こんな事ってあるのだろうか？僕達は鏡によって導かれたのだろうか？」と隆一は言った！

「私 この鏡を持つようになって、こないだ 変な体験しちゃったのよ」と優香は、声高に言った。

「しかも その鏡のせいで あり得んような不思議な事も起こったやろ？」と健は、鏡を突き出した。

それから数十分 隆一達は、この鏡によって不思議体験をした事を話し合った。

みな共通する事は、この鏡は、倉敷美観地区の露天商のボロボロの帽子を被り 長い靴 ロング黒髪のおじさんの有無をも言わさぬトークにビビビときて衝動にかられて購入した！

それでは、これから回想シーンに入るとしよう！ 優香のエピソードからスタート！

「私ね 先週の土曜日、友達と飲んでいたの 記憶が飛びそうになる程 飲んだわ。 友達の車で家の近くの公園まで送ってもらったの…」

気分が悪いから、その場で吐こうとしたら なんと無意識のうちに鏡を右手に持っていたの。しかも鏡から 「ケケケッ」と奇妙な笑いが聞こえてくる 鏡に映っている自分の顔が しわくちゃの顔になって、口元が口裂け女みたいになっているし 顔から血が流れ

てくるように鏡に映ったの。

しかし、自分の顔を触ってみても 口は裂けてないし、普通どおり。怖くなつて、公園のゴミ箱に鏡を捨てて、帰ったら翌日 捨てたはずの 鏡が 自分の部屋に なぜなんだろ？ あつたから おつたまげたわ！なぜに処分したはずの鏡が自分の机の中へ？」

続いて健の話

腰痛を煩い整体師の先生の所へ、診察に行った。美観地区で手に入れた鏡を見つつ、自分の番が来るのを 待っていたら、唐突に先生が 出てきて、「その鏡を、天井に照らせ！」

と先生の片腕が天井を差していたので 俺は、鏡を天井に照らした。

すると誰もいない海辺に裸にされた自分と整体の先生と 体長3m くらいの大王イカがいた！

俺は、怖くて 逃げようと試みたが 体が麻痺して 動かねえんだ！ 「まあ怖がらなくてもいいぞ！青年よ。この治療は、けつこう痛い、お前さんに永遠の健康を約束する血を与えるのじゃ。おとなしく耐えるがいい」

と先生は、真顔で言った。「大王イカよ！この青年の体の悪い毒を出すのじゃ。」と大王イカに威圧的な言い方で命令した！ 「うわあゝ俺の体が…まだ動かん。怖い。助けてくれ」と言いたいが 声が出ない。

そんな感じで俺は、汗びっしょりかいていた。大王イカは、少しずつ、俺に近づき俺の太股に向かって鋭利な 大王イカの足が入れられて 急に気分が悪くなったんだ。だが、あんなに深くヤツの足が食い込んでいるっていうのに、血が少しも出ていない。不思議だ？

なぜに？ その後、大王イカは、俺の足から ヤツの足をじわりじわりと抜いた。抜くと同時に、俺、今度こそ 痛さで顔が歪んだぜ しかも精気がなくなっちゃった 血を抜かれたのかな？と思っていると、俺の足の傷口から大量の白い精液が出てきた！ (体の力が…抜ける。)俺は、顔面蒼白になりながら呻いた。

だが、その後も大王イカは、数回も俺の太股からイカの足を刺しては抜き 刺しては抜き を 繰り返し、俺の精子は、もうカラカラじゃねえのかよって気分だった。俺は、体の力が抜け過ぎて苦しくて呼吸もしづらい！ そこへ医者が、俺をうつ伏せぎみにさせた！

「大王イカよ！青年の背中を貫け」

そして奴に新しい血を入れてやれ」

大王イカは、今度は、自分の鼻のr口をとがらせ俺の背中に向かって刺してきやがった！

「うぐぐぐ」

と俺は、小さく悲鳴をあげた！

大王イカの鼻のr口から 真っ黒な墨を吐く。 どうやら この技によつて俺は新しい血を注がれているようだ！

その後、俺は疲れて海辺で寝たはずだが 自分の部屋のベッドになぜか 自分が寝ているではないか！

この日を境に俺は、すっげー元気になったんだ」

続いて隆一の話

隆一は、美観地区に行きパワーストーンを書いたかった。

特に恋愛で困った事に合い すごく素敵な女性に出会いたいので、冷静な判断力と恋愛運アップの石アメジストを探していた！

すると、変な長髪の汚い おじさんに「奇妙な鏡を買わないか？」と言われた！

奇妙と言ってきたのに 関わらず また本当に不思議だが 吸い寄せられるように、その鏡を購入してしまった。

それから、3日後、隆一は、ぎっくり腰になり、近くの整体の先生に揉んでもらう事にした！

その日、隆一の鞆の中には、美観地区で購入した奇妙な鏡が入っていた！

隆一は、腰を揉んでもらっていたら、先生の声が いきなりポーン オロンの声に急に 変わって びっくりだった！

「あけぼの」は あげもの 竹之内君 幕の内君」 とかおなじみの言い間違いギャグを言い出した。

思わず、隆一は、おかしくなって声をあげて 笑ってしまった。そしたら

「もつと笑いなよ」と また、ボーンそっくりの声を出す先生。

そう言われて10秒後、いきなり先生は、片腕で隆一の背後から両腕を掴み、無理やり立たせ 両腕が極められ痛いし苦しい。逃げようとしても逃げられない。

さらに先生は、もう片方の腕で 隆一の脇腹を「こちよこちよこちよ」と言つてくすぐる！

「ぎゃははは」隆一は、大爆笑したが、両腕も極められ苦しいし、くすぐつたいし。隆一は あまりの気持ち悪さに意識を失った。

目が覚めたら、2日後の どんよりとした空の朝だった！

回想シーン終わり！ 肌寒くなる10月の後半、秋風に吹かれながら、隆一を含め三人は、ジャズの音が聞こえる喫茶店で微妙な、かつ不思議な空気に包まれながら、鏡のエピソードについて話していた！ 店内は、薄暗く、LPレコードや漫画が たくさん置いてある！

店内の曲は、ビートルズのイエスタデイが流れていた！

その時、三人は、不思議な事に偶然にも、奇妙な鏡を同タイミングで机の上に出したらジョンレノンの顔が鏡に浮かびあがっていて3つの鏡は、音を立てて 木っ端みじんに砕け散った。

その後、彼らは不思議な、おじさんを探しに美観地区を訪れても不思議なおじさんに 二度と 会う事は、なかった。

### 第三話 不思議な鏡（後書き）

夢日記を ほとんど脚色せずに書いた、物語です。夢ならではの不思議な感覚と 雰囲気は、興味深いのではないでしょうか？  
不思議な鏡を手にした三人が回想シーンを喫茶店で話すという 話  
だけど どころなく 奇妙な話とかテレビ番組で似たような話を聞  
いたことがあるような？作品です。 ドリームキーとかは 全然関  
係ない感じ

#### 第4話 愛の伝説の話語る男の夢（前書き）

時は、中世ヨーロッパだろうか？

平和な国ロザリオに 隣国アズラルのアズラル三世が、私欲から

ロザリオ王国を奪い取り 全てを破壊しようとする。      そ

んな時 立ち上がった女王ナイチンゲールや エリート兵士クル

ー達の物語を、描く



#### 第4話 愛の伝説の話を語る男の夢

広大な土地、見渡す限り、緑の大地の国ロザリオは、滝や花、美しい山々に囲まれ平和と繁栄と栄華を極めていた！

王マツシユが国を治めていて、息子はいない。娘ナイチンゲールがいる！

王は長髪に少量の口髭と大きく凛々しい目と長身が印象深い男だ！ロザリオ王国に、隣国のアズラルの部下が、王マツシユの寝室に忍び込んで、王は殺された！

「いやああああ パパ…なぜ？」とナイチンゲールは悲しき胸が張り裂けそうな声を出した。「王は、隣国のスパイに殺されたに違いありません。なぜなら、王の寝室に、置き手紙があったではありませんか？」

と兵士の1人が言った。  
置き手紙には、こう書いてあった！

「私はアズラル国のアズラル三世！王マツシユよ あなたから再三に渡り、娘ナイチンゲールを私の花嫁にしてほしいと懇願していたのに、あなたは、私にナイチンゲールをくれませんでした。私とナイチンゲールは良き友だったのに…悲しい。あなたには死んでもらう」そう書いた手紙をナイチンゲールは、読んだ。泣いている時に兵士のひとりが駆けつけてきて こう言った！「あなたこそ次期女王となつてください。王となつてくださいマツシユの代わりに国を治めてください。」こうしてナイチンゲールがロザリオの新女王となった。しかし平和は束の間、アズラルの兵士達によってロザリオの兵士は 次々と奇襲攻撃に合い殺されていった。またアズラルから手紙が届いた。「貴様ら、ナイチンゲールが女王となつたようだな。俺の嫁になるつもりは ないみたいだし 明日までに明日の夕刻までに女王を、俺の元へ よこさないと貴様らに宣戦布告だ！」

ナイチンゲールは、父殺しのアズラルの花嫁になるはずがない！  
すぐに戦にとりかかれるように 頭には美しい細工と宝石が施され  
た守備力の高い金の髪飾りを装備した。竜のうろこから作られたド  
ラゴンシールドと純白で光沢のある白銀の鎧と袋には、傷ついた兵  
士の傷を癒すための 数十種の薬草を入れ 腰にベルトと共に巻き  
つけて、ミスリルソードを装備した。ナイチンゲールの 容姿は美  
しく 目は人形のように 大きく 長い睫 大きな胸 美しく輝  
く白肌 高い鼻 小さく輝く口 後ろに束ねた赤髪の女性で 戦闘  
防具を身につける事によって 美しさが より引き立った！  
また、エリート兵士のクルーは、ナイチンゲールに恋心を抱いてい  
たが、いつも上手く伝えられずにいた。青の厚手の鎧にレザーマン  
トを装備し、バトルアクスの使い手で いつも女王を気に留めてい  
た！

細い目だが、奥二重で長い目で男らしく、鼻や口も 小さく 顔も  
小さく バランスも とれていた。

肩までの銀髪シャギーが似合っていた。 「女王様、出陣なさるん  
ですね。俺は、たとえ死のうとも あなたを守り抜いてみせます。」  
とクルーは女王の前に ひざまずいた。 「あなたは いつも私  
の事を心配してくれて ますが、私の事より 自分の事を心配した  
方が良いですよ」 と首を傾けながら女王は、クルーに言った！  
「とても叶わぬ恋だが、女王を愛してしまった！ 俺の命にかえて  
も女王を守ってみせる！」とクルーは 心内で叫んだ。 やがて 日  
は陰ってきて夕刻と なった！

アズラルの軍が攻めてきた。弓矢に火を放って城下は、火の海とな  
った！ナイチンゲールは、真っ先に 勝負を挑むのではなく、傷つ  
いた城下の人の事が気になり、袋に入った薬草を使い まだ生きて  
る人々の傷を治療させてゆくのだった。

その間に、先鞭を切ってクルーや兵士達がアズラルの軍に立ち向か  
う。 だが、アズラルの軍は、1000 ロザリオは250！

圧倒的に数で押され ロザリオ軍は、みるみるうちに減退してい

った。

女王も、女將軍として果敢に戦ったが 後ろから アズラルの兵士に斬られ そのまま倒れそうになった時にクルーが 後ろから駆けつけて 女王を抱いた。

「女王様！頭の後ろから背中にかけて大きな刃の傷が入ってます。ここは ひとまず隠れて休んでください。」

とクルーは女王を抱いたまま言った！「ありがとう。クルー でも私は最後まで戦うわ」そう言っ、クルーの肩を借りて、ゆっくり立ち上がった女王！彼女は斬られた時から耳も あまり聴こえなくなり 目も少ししか見えなくなってしまうていた。

「フハハハ 見つけたぞ ナイチングール」

と馬に乗った鉄の鎧を装備して鉄球を振り回すアズラルがいた！

アズラルは、黒長髪で 筋肉質で濃い顔だ！

アズラルは、「フン！」と言って女王に向かって鉄球を振り回したが 「危ない」と言い女王を 弾き飛ばし クルーが右肩から思いつきり アズラルの鉄球をつけた。 「女王様、クルー様が大変だあ 早く二人を避難させる〜」と 上級兵士が来て、アズラルと戦った！

その間に下級兵士達は、女王と右肩から右腕を負傷したクルーを安全な所へ避難させた。数時間後、アズラルの軍は、引き上げた。「フハハハハ また来るぜ！そんな時には、全ての城の者達と女王の命を頂け！フハハハ」そう言いながら、アズラルは、高笑いしながら帰って行く！

残る兵士は、クルーを含め 20…！ ナイチングールは、

一つの考えが浮かんだ。(どうせ 近いうちに皆 死ぬなら、新しい地へ…あの滝の向こうに…新しい地があるかもしれない)

女王は、ロザリオ最北端ナイールの滝、落差80mで大きな滝壺があるが、そこへ兵士を集めて新しい旅立ちをしたいので 賢者イリアスという黒のローブに白髪の老人を呼び寄せた。

「あの滝の下の世界へ私達は逃げたいのですが… 上手く死者を出

さずに 滝の下の世界に行くには どうすれば良いんでしょうか？」  
と女王は、心配そうに言った！ 「滝に飛び込む 勇気ある者は、  
皆 レザーマントをつけて飛び込みなさい。さすれば決して滝に  
吞まれて死ぬ事はないでしょう。」

イリアスは威厳ある口調で答えた。

城の女 子供 老人は、城下に隠れ 女王と勇気ある兵士10人は、  
女王と共に滝に飛び込む決意をした。

「勇気ある者達よ！今こそ アズラルから逃げるため しかし、新  
しい滝の地の土地で成功を治めるためナイルの滝へ入るぞ！ 私  
に続け」

女王は、号令を出し兵士達は、全員 普通なら確実に滝に吞まれて  
死ぬ所を賢者の教えどおり マントを着て滝へ飛び込んだら、兵士  
10人のうち9人は無事 滝の下の世界へ行けた。

しかし ひとり 滝の下には 行けてない 「ラルフレイ！」

兵士達は、下の世界へ来た時、兵士ラルフレイの名を叫んだが  
彼はレザーマントを装着し忘れて滝に吞まれて死んでしまった！

下の土地は、高い崖と湖に囲まれ、東西南北 2Kmくらいしか移  
動できない。

しかも人々もないし 食糧もない。

日が経つにつれ、兵士達は、混乱し始めて 同士討ちを始めた。

何度も女王の命も狙われたが、右半身 使えないクルーが、体を張  
って、女王を 助けた。兵士と兵士は、殺し合い 殺された 兵士  
は、焼かれて他の兵士に喰われた！

その頃、ナイチンゲールは、盲目の女王となり聴覚も極端に悪くな  
り、声もかすれて 上手く 喋れなくなっていた。しかし、いつも  
クルーが女王を守っていた。 「女王様、今 兵士達は、お互い殺  
し合って生きていますが、俺は、絶対に死んだ兵士の肉を喰らいま  
せん。 ましてや、あなたを殺して あなたの肉を喰らおうとは、  
微塵も考えてはいません。お互い 水だけで、ここで命をまっとう  
しましょう。」

「ありがとう クルー もし、ここから生きて脱出出来れば、私と結婚してくれないかしら？」

「はい！喜んで」

二人は、手を取り合った！それどころか、傷ついた兵士を呼んで、女王は、薬草をブレンドして飲ませたり、手当てをやってやった！

さらに、一週間が経過し、兵士達の声も聞こえなくなった！「俺達 殺されずにすんだのかなあ？」

「ええ でも私は、もはや動く事もできません。」

「諦めちゃ駄目だ！生きる！ナイチンゲール女王！必ず 上の世界から助けが来る！」

クルーは、熱烈に女王を励ました。しかし、時は残酷なまで経過し1ヶ月が過ぎた。辺りは、兵士達の白骨死体の亡骸と異臭で満ちていた！「女王様 まだ生きてらっしゃいますか？俺は、死ぬまで君を放さない。」

クルーは、抱きついたらまま ナイチンゲールに喋りかけた。「私も、上の世界から救助が来るまで死にません。あなたと結婚したい……。」

さらに時は、経過した……。

ある日、一つの大きな黄色い気球が、ナイールの滝から、この白骨死体の異臭が漂う世界（クルーと女王が抱き合ってる世界へ降りてきた！ 男は、ダーバンをかぶり 商人風の白い服を着て 腰には小剣が巻かれていた！

時は、経過したが、果たして 伊達男クルーと女王ナイチンゲールは、生きているのだろうか？

「なあんだ このリアルな石像は、しかも女王と戦士らしき者が抱きついているっぺか？」

そう言つて、男は、女王と戦士を引き離そうとしたが、不思議と離れない。

「珍しい石像だし、アズラルの城へ気球に乗せて持って行ってやる

っぺか」

そう男は、言つて 全ての事件の企てと女王を追い込んだアズラルの城へ、女王と戦士の像を持っていった！

「そんな馬鹿なあ 女王と戦士が石像になつてるなんて…なぜなんだ！」

と アズラルや大臣や兵士達が 驚きのあまり顔が真っ青になる…。

「石像になつてでも、ナイチンゲールと戦士クルーは、愛し合つているのかな？ 憎い愛だねえ。そんな愛など、このアズラル様の鉄球で、粉微塵にしてやるわ」 アズラルは、大きく息を吸い込み 徹頭徹尾に何百発も狂つたように石像に鉄球を叩きつけた！

「ハアハア〜 どうして この石像は 砕けないんだああ」

アズラルは、混乱した。城内の人々も混乱した。

その時 奇跡は起こつた！ 天から激しい雷が、落雷し、アズラルは死に 城は地からの地震で 崩壊した！

一人の水の羽衣を着た女の精霊が現れた！

これは、天からの罰です。アズラルにアズラルと共に悪の道を進んだ者への。

そして、戻りなさい 女王に戦士よ！

精霊の魔法で二人の石像は、元の姿になつた！

しかし二人は、天へ引き上げられていった！

「あなた方の愛は永遠に 伝説として語り継がれて行くでしょう。これからは 天界で二人は、愛を貫くのです。 こうして二人は、地上から消えた！

しかし、それから後 満月の夜は、ナイチンゲールとクルーに似た星が上空へ現れるという事になつたそうじゃ。

物知り男ラムさんは、子供達に、一つの愛の伝説を話し終わつて煙草をゆっくり吸つた！

そして この 夢は終わる

#### 第4話 愛の伝説の話語る男の夢（後書き）

中世ヨーロッパにおける 戦争から、 愛へ しかも 真  
の愛とは 何かを問いかける物語になっています。

愛が、起こした 物語後半部の奇跡も、一つの見どころだったと言  
えるでしょう。 元ネタは夢日記だったけど 深いいい話し  
に仕上がりました。

## 第五話 中国昔話リー伝説（前書き）

中国の昔話の夢日記です。以前 とあるSNSサイトの日記に夢日記そのまま 載せました。

しかし 今回の 夢 の話は かなり脚色しました。中国香港のアクション映画を

見ているようなストーリーに きっと惹かれる事でしょう



## 第五話 中国昔話リー伝説

昔、中国に11歳の娘レンと、12歳の娘ランと、10歳の息子ヤンという息子達に恵まれ、リーという、常にカンファー着に、ややえりあしが、のぞくくらのへアーに、濃く、目鼻立ちが、くつきりした男、35歳のカンファーの使い手、リー、という男がいた！  
だが、ある日、「うぐっ」 苦しいよお、また呼吸発作があゝ助けてくれ、チエンミン」  
と、リーは嫁チエンミンに抱きついた。

「あらあら、毎回、かわいそうだと思つたら、あなたの考え違いだね。隣村の医師から、いただいた、とんぷくさ、飲めだつちゃ！」  
「ハア、」ごくり！「ああ発作が、おさまってきたよ」

「あのさあ、リー、あなた建設の仕事、またクビになつたんだつて、」  
「すみん、チエンミン」

「いったい、いくつ仕事をかえれば気が済むの？、もう、あなたとは暮らせない！アタシ実家に帰るわ。」

「チエンミン、お前まで、オレを見捨てるのか、」  
こうして、雨の激しい、6月の夕暮れ、チエンミンはリーに、三行半をくだした。リーは、息子と娘を一人で面倒見ることになる。

「ハア、」俺、生活力がないのに、三人の子供を、養うのは、大変だあゝ」と、酒場で、ぐちつていた時

飲み友達、ジャッキー小太りで、丸く、ぱっちりした目と、ちよび髭の、彼は、こう言った！「なあに、リー、よ、お前、あの竜仙人さんに、若さの秘術を学んでるじゃろ？だから、今のおめえ、見た目25歳、で、じゅうぶん通用するぞ。」

そう彼に励まされながら、日は、経過した、妻に、三行半されてから、リーの心は、平常心を失っていたが、さらに、リーの心境をかき乱す事が、起こつた！、リーの息子ヤンが、食事中いつもよく

喋っていたのに 最近 妙に無口で まるで なにかに おびえて いるように見える。

「どうしたんだい？ヤン」

「とうちゃん とうちゃんの前 働いていた会社ブロッキー てとこ ヤクザが 絡んでたんだって？」

「俺 知らなかったぞ」

「だって僕 とうちゃんの名前 出されては そのヤクザのボスである ゲンって 体長2mはある大男に リーを殺せ リーを殺せと この劇薬を 渡されるんだよ。」ヤンのポケットから出てきたのは 飲むと 血を吐いて死ぬ あの有名な劇薬 蛇毒薬だった！  
リーは 意を決して 以前 働いていた 会社にカンフー着と 赤い鉢巻きとヌンチャクを装備して 表沙汰は 建設会社として 看板を出している ブロッキー（株）  
に歩を進め ホンマランを睨みつけた

「おやあ 先日 クビになった リーじゃないか？なんだあ その形相は？」

ホンマランは、野太い声で リーの顔を睨んで ニヤッと笑う。「ホンマラン 貴様のやり方 許しておけねえ 麻薬売買しているヤクザだろう！」

「フハハハ ヤンから聞いたのか？ あいつ思った以上に 口が軽いね」

「ああそうだ！ 覚悟しろよ ホンマラン」リーは 竜仙人から授かった構え（青龍）の構えをとった

「ククク リー 貴様の相手は 我ら ブロッキー組が相手だああ」

後ろの部屋から 5人の従業員であり 元リーの同僚である 男達が 普段 リーに 見せた事がない 服を脱いで 上半身裸になった

な なんと 5人とも色鮮やかなタトゥーを しているではないか 鯉や 花 竜などをモチーフにした タトゥー まる

で タトウーの舞踏会に

来ているようだ。

5人それぞれ 素手で リーに襲いかかってきた！

しかし、いかんせん喧嘩に関しては素人なのか タイミングがバラバラだし リーの（青龍）のかまえから 繰り出される サイドキックや 二段蹴り 一撃の拳 の前で バッタ バッタ て倒れていく 5人のタトウーの輩達

「ぬうう」

焦ってサングラスを 外す ホンマラン

リーは 体をガードするかのごとく丸めた（玄武）のかまえだ！

ホンマランは、パンチの雨あられで 襲いかかるが リーはまるで亀のような 動きで まるきり ホンマランの攻撃が効いてない

ホンマランが渾身の一撃で 右ストレートを出す直前に

リーは宙返り前転して ホンマランの胸元に ダブルニードロップ！ ホンマランは2m以上 後ろに ぶっ飛ばされた

そして 鬼の形相で 近づく リー！

「悪かった 許してくれ」 もお リー達には かわらねえよ」

ホンマランは おびえた口調で そう言った！

「フン 悪は滅べ」と 言いながら リーは 会社から 立ち去ろうとした 刹那

ホンマランは、どこに隠し持っていたのか 銃を手にして

引き金を弾いた

ズドン！

リーに 直撃かと思われたが どこからともなく 一つの影が あらわれ 銃弾は 弾かれ ホンマランは 疾風のごとく 踏みつけ蹴りで 息絶えていた

リーは 嬉しさと 懐かしさで 涙を流した。

「竜仙人先生」

そこには 緑のカンフー着と 長い口髭 白髪 の おじいさん  
竜仙人がいた！

「うぬ！ リーよ 今のは 危うかったのう！ ワシが この会社  
の悪事を知り ひとりで 滅ぼしに来たが まさか リー お前  
一人で やってしまうとは あっぱれじゃわい」

「竜仙人先生が いなければ 私は やられていました！」

「そうかも しれなかったのう まあ ワシは 忙しいので これ  
で失礼する」

こうして 竜仙人は また疾風のごとく 消えた

リーは 娘や息子と コミュニケーションをとるため

日課として カンフーの時間を 作った

「ヤンゝ あなたは いつまでたつても カンフー上達しないわね」  
レンは、ヤンのカンフーの動きを見て ダメ出しした。

「こらゝっ ヤン あんた何回 言ったら (朱雀)の動きを覚え  
るの？ あなたの拳は まるで ネズミじゃないか」

ランも ヤンをせめる！

毎日のように ヤンはダメ出しされ ヤンは 姉達を 見返して

村一番 いや あの竜仙人より強くなりたいと言い出し あの有  
名な武道寺チャンチャン寺へ 一人 修行のために 出ていった！

「ヤン まで 寂しくなったなあ」

リーは つぶやいた。長髪で腰まで髪があり 12歳とは思えぬ大  
人びた姿のランは 「どうせ ヤンのやつ修行に耐えられず すぐ  
帰ってくるぞ」

と軽くあしらった！ お団子頭で男の子みたいな姿のレンは、「ヤ  
ンのやつ強くなってきてたよ ウチ きつく言い過ぎたわ」  
と 半泣きの顔になった！

ヤンは、チャンチャン寺で 修行する事になったが ヤンは他の修  
行僧以上に厳しい修行をさせられた。 「これって やりすぎじゃ  
ないでしょうか 師範代」

「ヤンには 特別 痛い灸をすえてやる

ヤン スクワット千回 腹筋500 腕立て伏せ500 を五時間以内に こなせ

できねば ムチで 貴様をこらしめる」

丸坊主の2mくらいある 細目の師範代は ヤンに 毎日のように 厳しい メニューを与えていた。

月日は 経過し 冬も寒さが厳しさを 増してきた！

「オイ ヤン 雪の中 寺の中庭の凍りついた池で座禅を組んでこい」

今度は、師範代ではなく兄弟子からの あきらかな イジメだ！ヤンは 修行だ 強くなれると思いき 兄弟子や 師範代の命令には 全て従った

心が折れそうになり 何度 チャンチャン寺から逃げだそうとしたことか

しかし 竜仙人を超えて 最強の男になるという夢のために 必死で 修行や イジメに耐えた！ しかし 「さ 寒すぎる 死んでしまうのでは ないか ここで座禅組んでいたら 池 に 落ちるかも 「この日はかりは ヤンは 誰も見えない池から出て

あたりを キョロキョロして 夜逃げを決意する！

外門の 裏の囲いを とびこえたら

逃げれそうな予感がする。 ヤンは 走って 囲いの方へ行く。

すると 猛スピードで 大きな影が近づいて 後ろから ヤンを

つかまえ 片手で ヤンを 持ち上げる！

「痛ててて」

「ヤン 夜逃げとは いい度胸しているなあ 本来なら 重い罰を与えてやりたいが 面白い話をしてやる。」

後ろから片手で ヤンの首をつかんだまま 師範代が 語り出した！

「俺は、ホンマランの弟 ガリュウだ！お前の父が我が弟 を殺したという情報が 入ってきた時 リーを殺そうと思っていたが

リーの息子であるヤン！

貴様が この寺に修行に くるとは 飛んで火にいる夏の虫とは  
このことだな」

「じゃあ いっそのこと とうちやんに この事を伝えなきゃ」

ヤンは ガリユウの手をほどき 力強く言った！

「ムダだ これからもお前を しごきに、しごく 逃げられんぜ  
ワシらからは」

一方 その頃

リーは、学校の先生になっていたが

浮気癖が 激しく 学校に 授業中にリーと関わった女が 何回も  
乗りこんできたり、リー自身 発作等の病気もあり 授業を休み  
がちになり

真冬の2月半ば リーは 学校先生を クビになる。

ダメオヤジに 愛想尽かした リーの娘達も不良になり

家に帰らない日々

夜遊びで 家に帰るのが 朝帰り だとか そんな日々が続い

た リーは、一人 一枚の大きな家族写真を眺めて いた！

「チェンミン ヤン レン ラン… この頃は、家族全

員 仲良くて 楽しかったなあ。 家族の絆ってこんなにも

いのかな？」と思っていた矢先 レンが いきなり リーのそばに

きて 家族写真を四方八方から やぶった！

「 やめる レン」

「ふんぐだ もうこの家 出て行ってやる」 レンもランもヤンも

家に帰ってこない

寂しい春

暖かい日差しの中

リーの村には 黄色のじゅうたんのように 菜の花が 美しく咲き  
誇り また リーの家のまわりには 桜が満開の季節となってい  
た。

リーは 毎年 チェンミンの 胡弓（中国の民族楽器）を 聴きな

がら 春の夜桜を

中国酒で 月を眺めながら くつろぐのが 好きだったが 今年  
は、本当に一人で しかも いつも以上に苦しい病状で 一人  
のリー

四月も終わり 若葉繁る 緑香る 風の季節となる頃

リーは 過呼吸で

生死を さまよっていた。

夢か幻か リーの

目の前に いまにも 衣が はたけそうなくらいの着物を着た 二  
十歳にも満たない 細長い奥二重に濃い化粧 中国の夜の店にい  
るような髪型と美しい飾りをした女が リーの 枕元に あらわれ  
た。

「私は 蛇姫 私と寝てちょうだい

私と寝たら あなたの病は たちどころに良くなるでしょう。」

蛇姫は うつとりしたまなざしで リーを 誘惑してきたが リー  
は、薄らぐ意識の中で殺気を感じた。 そう 蛇姫の奥歯には、  
なんと 鋭い 牙が 光っていた。

蛇姫の体のラインは 美しい。

この世のものとは思えぬくらい美しい しかし リーは、さん  
ざん浮気して 軽く 女達と寝た日々を見直し こう言った「俺は、  
お前とは 寝ない！愛する女は  
チエンミンだけ。

いづれ 俺の元に帰ってくる だから お前とは 寝ない」

その時 蛇姫の体に 異変が起こる 白い表皮から 鮮やか  
な マムシの体が、あらわれて こう言った！「あなたは よく私  
の誘惑を さけました。 家族の絆は大切ですな

あなたの強い心 負けない心 は いづれ 絆を 取り戻すでしょ  
う」そう言つて 蛇姫は去った：

小さな光の玉を残して

リーは なぜか 光の玉を飲んだら あら不思議 リーの体は た

ちどころに 回復した！

新緑の季節 緑色の風が 気持ち良い

五月 近くの サツキの園という 花の名所に 一人 リフレ  
ツシュしに リーは行ってたら

チャンチャン寺の坊主が 息を切らしながら やってきた

「ハア ハア」

「どうした？」 「実は、ヤンのやつ 師範代や 兄弟子に いつも  
イジメられています」

「なぜ？」

リーは 怒りで唇が震えた。

「なぜなら昨年リーさんが倒した ヤクザの組長の弟が 我が師範  
代なんです」

そう言うのと風のごとく坊主は去った！

リーは 以前のように 力で チャンチャン寺の師範代およびヤン  
をいじめる兄弟子を ぶっ飛ばす という考えは おきなかった。

そう リーは ひとりになり 自分を 見つめ直し

家族の絆を取り戻すため 家族のありがたさに 感謝していた。

そして ただ 病に なっただけでは なかった。

病床で 人間は力で制するのではなく

話し合いと 心 魂 で動かすものだ と悟り 中国に伝わる

人生の哲学や素晴らしい人生訓を読んで 内面を磨いていたのだ。

スピリチュアルパワーに満ちたリーに変貌をとげていた

そこで、リーが とった行動は リーが 学んだ 書物と 自家裁

培だが 新鮮な野菜や くだもの そして

貯金を使って購入した 馬二頭を連れて ガリユウの前に言った

！

「このとおりだ

ガリユウ 俺が お前の兄を殺した

この捧げものならぬ 俺の持ってきたものと ひきかえに  
ヤンを俺の元へ返してほしい」



リーは ガリユウの前で 土下座した！

「おぬしの気持ちは よくわかった ヤンを返そう。 ワシらこそ悪かった。 兄上の敵だと思い ヤンを イジメぬいた」

「おゝい ヤン」

リーは、広い寺の中 ヤンを探しに行った！

ヤンは 今日も 兄弟子から 教わった カンフーを練習していた

しかも リーが 見たヤンの動きは 以前とは まるで別人

流水が流れる中

滝や 溪流のごとき 動き

まさに可憐

それを見て感動した リーは ヤンに向かって 駆け出し

「強くなったね ヤン」と言い

ヤンは、「とうちゃん」と言っ

た リーに抱きつこうとする

そこへ 突然 上空から 稲妻が墜ちてきた！

ヤンとリーは 距離をとった！

空は晴天なのに一気に 夕立でも あろうかというくらい 暗くな

った！

上空から 大きな竜が現れ 竜の上では 娘 レンとランが 縄で

結びつけられ

竜の背中には

竜仙人が 乗っているではないか！

「パパ」 助けて」

「こわいよー」

レンとランが こちらに助けを求めている！

リーは「レーン

ライン」と叫んだ。

「悪の黒幕は このワシ 竜仙人よ！ チャンチャン 寺師範代にワシが本当は、奴の兄を殺したのに、お前が殺したと嘘の情報を流したのもワシ！

ワシを倒さぬ限り 娘達は 戻らぬぞ！」

「竜仙人！ なぜだか 一連の事件 そう最初 俺を 助けた時から 怪しいとは思っていたぜ」

怒りに震える リー

「かかってこい」

竜から 飛び降りる 竜仙人 二人は 間合いをはかる

うかつには 手が出せないのだろう

「とうちゃん俺も戦わせて」

ヤンは叫んだ。

「お前は とうちゃんの戦いを 見守ってる」

「パパ この戦いで死ぬ気なの？」

レンは涙ながらに言った！

「大丈夫さ 俺は死なんよ そして家族の絆を取り戻す」

「ふふふ リーよ！ 後の先を 狙っておるな ならワシは先の先じゃ」

いきなり 回転跳び蹴りで リーを

ぶっ飛ばす竜仙人！ 「うわぁーっ」

「とうちゃん…」

レンとランは 思わず目を背けた。

「心配するな とうちゃんには 必殺技がある」

ふらつきながらも

竜仙人に近づき

「うおりゃあああ 百虎拳」

百匹の虎が 同時に襲いかかるような攻撃を竜仙人に ぶつけるが

竜仙人は 全てかわして、ひよいと

リーの 頭の上に乗っている！？

そのまま するりと身を翻し

竜仙人は、リーのバックをとり

「フィッシャーマンズスープレックス」 リーを 空中にとらえて

から 急降下投げで 地面に直撃させる 荒技だ。

リーは ピクリとも動かない！

「ハハハ 所詮 悪であるワシが勝ち  
正義のリーは 負けるのじゃ」

「レン：あなたの持てる気をとっちゃんに」

「ランこそ 気を とっちゃんに…」

レンとランの気 は 波動となり

リーの魂をゆさぶり リーは ふらつきながらも 立ち上がる。

「息子達の前で俺は死なん！」

竜仙人 あなたから授かった 奥義で

あなたを倒す

とっく」

そう言つて リーは 上空 高く 舞い上がり

上空から 超急降下跳び蹴りで

竜仙人を狙う

「朱雀」

しかし 竜仙人は かわすつもりだ！

ニヤニヤしてる

「させるかあ」

ヤンは、竜仙人の足をスライディングタックルで つかんだ。「う

ぬぬ 逃げられぬ！」

リーの 奥義が 命中 竜仙人を最後は 見事 リン やレンの波

動 そしてヤンの援助 まさに 家族の絆で 倒した！

「よ よくやった ワシは おぬしに教える事は ない

この金で 幸せに 暮らせよ」

竜仙人は ふところにあつた 日本円だと二千万を リーに

渡して息絶えた！

その金で、 リーは 武道館を開き

多くの門下生で

にぎわつた！

そして翌年 11月半ば 秋の 美しい

紅葉の景色となり

道端のイチヨウ葉 カエデ もみじ が、色づき はじめた  
！ 「とうちゃん 木々が 赤く燃える季節になったね んで  
とうちゃん は 新しい恋でもしないの 人肌寂しい季節だよね」  
と ヤンが半分からかいながら

言った

「バカ言え」

俺は そんな暇ないっつーの 春には  
四川省で 武術大会が開かれるだろ！？

それまでに

レン ラン ヤン お前達を 鍛え直し トーナメントで  
優勝しような。

子供の部では 多分 ヤンが優勝

大人の部では 俺が優勝さ」

そう四川省で 開かれる 大武術トーナメントには、世界各国から  
強者が現れる！

リーは さらに武術に磨きをかけていた。 そして四月初期 武術  
トーナメントが開かれていた。

リン ラン ヤンは 少年 少女の部

で おそらくベスト8に残ったらしい？

一方

大人の部っ 日本の忍者 三光丸を 危うげなく倒し  
アメリカのテキサスロングホーンを（青竜）で 倒し

決勝へ勝ち進んだリーに 驚くべき出来事が待っていた！

決勝の相手は またも日本人か？

平安時代の衣装に

お琴や 鼓 三味線の音と共に能面姿の人々が 曲とともに登場し  
てきた！

真ん中の 女性らしき選手が 桜をザルから 撒き散らす 演出を  
している！

そして 真ん中の女性は 胡弓を 後ろの衣装の人から 渡され  
いきなり 曲を奏でだした

(チョウになりたい) 「懐かしい まさか…」  
ヤンは

真っ正面を見た

金色のロングヘアに 和風のメイク しかし そう  
真っ正面の選手は、能面を 投げた

素顔は チェンミンだった。

「まさか チェンミン」「こちらこそ 驚きよ リー 大会に  
エントリーしていたなんて」

二人は 試合は せず 中央で 抱き合って涙を流した！  
よって 二人は 試合放棄と見なされ

3位の者が

繰り上がり優勝を果たした！

ローマのパウロコスという ローマでは名が知れた 剣の使い手  
が優勝した！

こうして この後は チェンミンとリーは 再婚した！

チェンミン リー ヤン ラン レン は その後

日本に別荘を建てて 住む事になった！

日本は、戦後時代後期

リーは 当時最強と謳われた 宮本武蔵にも勝利した

唯一無二の中国人だが 残念ながら、歴史の書には 記されていない！

そしてリーは 家族と 未永く ジャパンで 平和に 暮らしたと  
さめでたし めでたし

## 第五話 中国昔話リー伝説（後書き）

早乙女隆一が 主人公ではなく  
中国のリーという

ダメ男が主人公である。

家族にも

三行半下されながら 最後は 家族の絆を強く描き

最終ボスが まさかまさかの キャラクターになるという

予想が できないオチと

浮気ダメ男のリーが 内面的に成長する 姿を 描きました！

家族の絆 を 守り

修復するために

努力して

努力は 報われるんだと 言う事を伝えたかったので

後半かなり ミラクルな仕上がりになりました。

ご閲覧ありがとうございます

## 宇宙犬キャッシー

ここは、宇宙暦 二万六億光年  
惑星ジュピター

ジュピターには、  
体を持たない

不思議な生命体が  
いた！

不思議な生命体は、      なんにでも  
乗り移る能力がある

例えば      草や花

人間や      動物にも

実態を      もたない

生命体だが、      そこでも      文化が      ある

地球歴      2012年未までには

地球人と

アクセスが

現段階より

とれるようにしていきたい！

惑星ジュピターの

長      スライムのような      体の      マーシエは      地球上の      人や

自然が

大好きだ！

同じように

人や      自然が

大好きな  
スライムのような宇宙生命体　　キャツシーに　　とある任務を任  
命した！

「我らジュピター一族に　おいて

将来　　地球人を導くであろう　　キャツシー　　そなたこ

そ

我が　ジュピター一族の　　予言書による  
救世主なるぞ

」

「　お言葉ですが

わたくし　キャツシーは　　そんな　名譽には値しない

ただの　地球外生命体です　　そんなこと  
言われるとは…」

「　キャツシーよ

まさか　　予想外とでも　　言うのか？」

するとキャツシーは　　スライムから

いきなり　人間女性　　40歳くらいの姿に　　変身して

こう　言った

「予想外やあゝ

はい　予想外　　ナイスガイ

地球外生命体」  
と

指で、　コミカルに動作を　とるキャツシー

「ナイス　　ギャグだ　　キャツシーちゃん

地球人の　メシアと　　そなたは　　出会い



地球と 惑星ジュピターを 結ぶ 架け橋と なってもらうぞよ  
「かしこまりました 確かに 2012年末以降 何かしら  
地球上に 魔の手が 近寄ってきてますね 私たちが 地球人に  
歩み寄り  
地球人を 助けなければ ならないと思います。」

「キャッシー

地球人のメシアは

早乙女隆一 という人間だ

この映像の男だ」

いきなり 大宇宙に

でかい 鏡が あらわれた

めっちゃくちゃキモい男 がいるではないか

これが 地球人 の メシア？

2012年末以降の 地球上の危機を回避するために

地上最後の 輝きとなる人物？

キャッシーは

かなり 抵抗を

覚えた！

「良いな キャッシー

地球暦1998年に そなたを

犬の姿に、そうゴールデンレトリバーにして 贈り込む

地上には

ソウルバンパイヤヤ 既に 我々が 感じ取れる

まがまがしい

悪の 気を 感じる 2012年末から そなたは 宇宙

犬の姿を捨て

竜神の姿

つまりは キャッシー そなたの 本来の姿か バトルサイボ

ーグに 変身して

早乙女隆一達

地球人と 忍び寄る悪や ソウルバンパイヤを

滅ぼしてくれ

そなたに

宇宙チャクラム全てを 解放できるよう そなたの

体内に 昨日

チャクラムヒーリング2012バスターを 挿入したんだよ」

「えっ マジで？ あたし 寝てたんで 知らなかった」

「スピリチュアルエイリアン達の呪文により、そなたが竜神に変身  
できる能力や 不思議な魔力を注入したのだ

ただし そなたは 不思議な魔力を 持つ宇宙犬キャッシー  
として

早乙女一家に 育てられるが

そなたは 宇宙犬だと 人間達に

知らせてはならない あくまでも

しかるべき時まで犬の ふりをするのだ。

2010年くらいまでは 普通の犬の

ふりをしなさい

そなたが 動物の言葉や 全人類の言語が 1998年 で

バレたら まずいからな」

「 はい

私は しかるべき地球上の危機まで

犬 普通の犬のふりをします。」

「それでは、そなたを 地球へワープさせようぞ

田中さんの 家に 子犬ゴールデンレトリバーの体で ワープ

スプラッシュ」

「キャッシーの体は　みるみるうちに  
竜神になり

そして　40歳くらいの間女性姿　いわば　バトルサイボーグ姿  
になり

そして　犬に  
なり

1998　3月　田中さんの家に  
送り込まれた！

一方　早乙女一家では　隆一の妹　かなえ  
が　「ねえ」　犬がほしい　田中さんの家　無料で　レパー  
トリー引き取る方を  
差がしてるんだって　ウチで　飼おうよ  
と

かなえは　両親に  
相談する。

かなえは  
大きな瞳　おかつぱ頭　中肉中背な

高校一年生である。　隆一は　まだ二十歳　キャッシーは、

かなえの　強引な  
くらいの言動で

早乙女一家に  
引き取られた。

だが  
宇宙の竜神

本性を出せば  
一夜にして

岡山県を　炎に　包む　エネルギーさえ秘めた　惑星ジュピター  
の　生命体が

今や　ゴールデンレトリバーの子犬キャッシー

しかし 地球に来てから、記憶を無くしてしまった  
キャツシー…

自分は、なにもかも忘れて 啞然としていたら  
かなえは「名犬ラツシーに ちなんで  
キャツシーと名付けよう」と 母 治美に 力強く言った。

父 興亜 も 見つめるキャツシー  
キャツシーは、自分の名前が 偶然にしては 驚くべきことに  
かなえに 言われたので 自分の使命が 少しでも 蘇った！

「キャツシー？ そうだ 私は  
キャツシー？

人間の言動が そこそこ わかるけど  
あえて 知らんぷり 知らんぷり  
今は 犬らしく 振る舞おう。」

数時間後

兄 正樹が 到着  
キャツシーは

正樹に 対して  
ただならぬ  
邪悪な 気を 感じた。

さらに 隆一が  
キャツシーを見て

「かわいい〜  
癒やされるわあ

「  
といい  
キャツシーの頭を  
なでなで する

「 ななんだ こいつ あたし の 頭を なでなでするの  
は いいが マヌケ面だな！」

そこそこ記憶喪失に 陥ってる  
キャッシーは、  
将来 地上最後のメシアとなる  
早乙女隆一の  
最強のペット  
竜神になり 地球を 悪から 守る 使命さえ 忘れている！  
その後のキャッシーは 人間の言葉は 相変わらず 少しし  
か わからず  
早乙女一家で  
本当に 何年も  
普通の犬として  
生活していた

しかし 2001年 そう

2001年  
惑星ジュピターから 多くの  
エネルギー体が  
宇宙ブームを 確立しようと  
地球に 介入したものだ！  
後に 彼らは

宇宙とアセンションを とる  
スピリチュアルブームの火付け役となり  
宇宙エネルギーを  
用いた  
それ以降

瞑想を 誕生させていくことになるのだが それは  
まだ 先の 時代となる！  
2011年10月の後半  
早乙女隆一は、キャッシーの  
ただならぬ 気  
を感じとったのか もしくは

天然かは  
知らないが

「なんか キャツシー 人間の言葉  
わかりそうだよ」  
と

キャツシーの散歩の後

母に 言った声が

犬小屋まで

聞こえた！

「 人間の言葉

はっ 思い出したわ 私の目的

いいえ

なぜに 私が この世界に いるかという

本当の意味が

「 この時 早乙女隆一の言葉から

キャツシーは

ただの犬から

宇宙犬キャツシーとして 覚醒したのだった！

隆一と 散歩を

するたびに隆一に

こちらが言葉がわかることを感ずかれたのか

「 うんまいるか？」 とか

「 あれ 柿だよ

食べてみたいか？」

「 キャツシー

返事は？」

と 毎回 隆一が

話しかけるんで

最初は 知らんぷりして

無視するはずが

なぜか

「ワン！」

と 吠えてしまう。

隆一は 家族や 友人に うちの犬

言葉が わかるんよー って 言いまくっているようだ！

隆一の母や父からも 「さんぽ行こう」

「ご飯にしよう」

と 聞かれたら

つい キャツシーは 本能で

「ワン」と吠えて

表情にも 表していた。

「お父さんのところに行きなさい」

とか

「ねこちゃん探しなさい」

「この足に手をのせなさい」

と

人間が キャツシーが宇宙犬とは

知るよしもないが

いろいろ人間の言葉を 試してくるから

適当に

人間を 驚かせない程度に

芸をした。

そんな ある日

隆一から

「キャツシー

人間の言葉わかるん？」

と 問われた

本当は、 全て

わかっている

だが

まだ 地球に 大異変も  
起きてないし

「ワンっはい」

と 返事を

するわけにはいかないから

あえて 黙って応えなかった

それにしても、人間は 私が お腹好いてるのに

全然 わかってくれない

家族旅行とか

早乙女一家は

よく 出かけるようだが

隆一は

空腹で 眠たい時に

「ご飯にしよう」

と 私を 起こす。

人間とは 勝手な生き物 なのか

いいや マーシエが 言ったように

地上の悪を

来るべき日に備えて 滅ぼすため

今は

人間の言葉がわかるとは 答えない

と 決めた！

時は経過して

2005年

マーシエが キャッツシーの夢の中に現れた！

「久しぶりよのう

キャッツシー

隆一は 人間外な



ポテンシャルを開花し始めてるぞ  
摩訶不思議な夢

これから2005年以降 東北大地震 2012年 ハリ  
ケーンや 富士山噴火や各地の大地震を予知出来る夢を  
聖霊界の者から授かったようだ

だが 奴は  
自分の不思議な力に気づいてない」

「お久しぶりです  
マーシエ様

では 奴と 近い将来 タッグならぬ 愛犬または 守り犬に な  
るためには どうしたら 良いのでしょうか？」

「隆一は 何かしら 不思議な直感で

君に話しかけるんで 徐々に 人間らしく ありなさい  
また しかるべき時は 近いかもしれない

隆一が ソウルバンパイヤや パンドラ王国という 組織 から狙  
われそうになったら キャツシーは

竜神となり 隆一を 守りなさい」

地上も2012年末で 何かしら あるのかわからないが  
キャツシーは

隆一の言葉には  
特に

そして 早乙女一家の誰が 話しかけても ある程度  
言葉が わかる犬として

存在する事を決めた！

年月は 経過した。

隆一は、キャツシーに 数を 教えた！

「隆一 私が人間の言葉が わかると 直感で わかるの  
か？ よーし 人間の数など 私が宇宙犬だということを アピー

ルしてやるよ」

そう キャットシーは、心の中で つぶやいて 汲んであった  
鍋の水を ごくごく飲んで  
お座りした！

「キャットシー

1 たす2 は？」

隆一は キャットシーに 問題を出した

「ワン ワン ワン」 キャットシーは 宇宙犬を 馬鹿にするなど  
言わんばかりに力強く答えた！

続けて 隆一は

2 たす2 は？

キャットシーは

「ワン ワン ワン ワン」

四回吠えた

隆一は すごい驚いた表情で なにやら

携帯のカメラで

こちらを

映してくる

だが、これ以上

相手にして

現段階で 人間の言葉が 全てわかるとか

知られたくないから 隆一の 驚く声を

100 ひく99

と言ったが

無視した

「あれえ お母さん おかしいなあ

キャットシー さっきまで すごい計算できてたのに」

「では 母さんが問題出すよ

キャッシー

3 ひく1は

「

ワン」

キャッシーは わざと 答えを 外して

すつとぼけた

「 人間達

まだ あなた達に

私が 宇宙犬であることを

教えるわけには

いかない

だから あえて答えない時もあるが

許してくれ」

キャッシーは

心の声で 言った！

2009年

パンドラ王国からの 支配者が レッドシャドー

人間には 見えない 姿で

隆一の家を 偵察してきていた！

キャッシーは

レッドシャドー つまり 悪のパンドラからの 奴を しとめ

たいが 竜神になれない

変身できない！

パンドラ王国は、 キャッシーを一目見た時に

変身能力さえ出来ないよう 魔術を 使ったようだ！

パンドラ王国や

ソウルバンパイアに 気を 吸い込まれたり

呪いを

かけられ まくる早乙女一家の姿が

痛いほど

わかるが

どうもこうもできない

キャッシー

だから 早乙女一家の父や母が

散歩に連れ出す時

鎖を引つ張り込み

早乙女一家の家に

上がり込んで

パンドラ王国のレッドシャドーを

見つけて

呪いを

解いてやろうと

必死で 探した

家まで 上がり込んで キャッシーは

気づいた！

早乙女隆一は、

パンドラ王国のレッドシャドーが

乗り移ったやつらに 呪われている時があり

激しい 体調不良や 暴言

やら コントロール出来てない 隆一を

何度も見た！

2011年

ますます

早乙女一家に

自分が

宇宙犬であることを アピールしまくるため

あらゆる話を理解し 人間の質問に答えた！

早乙女一家は、キャッシーを

メディアに出す計画をしていた！

「いいぞ

いいぞ

私の

目的が

果たせる時が

近い

隆一も潜在能力があるから 私が ポテンシャルを 引き出す機会  
が 巡ってきた」

キャッシーは  
メディアに 出るとき メディアで 犬語から  
人間の言葉も  
話せるんだと  
覚悟を決めて  
いた！

2010年10月10日 遂に

キャッシーが  
竜神や

サイボーグに なる 術を 思い出せた！ 「よっしや  
これで 今日から

隆一の家に来る

偵察機レッドシャドーを 倒せるわ」

キャッシーは 両腕を 天に挙げたら

一気に 40歳くらいの 女性に変身した そして レッドシ

ヤドーを 見つけて

一撃のパンチをお見舞いした！

何日も何日も

レッドシャドーを倒し

10月後半

いつものように

レッドシャドーが 早乙女一家に

偵察に来るのかな？と 思っていたら、 「ククククク」

どこかしら

笑い声が 聞こえる

「ジューピタースピリチュアルオン！」

キャッシーは、サイボーグに変身した！　すると　人影みたいなものが　キャッシーを　取り囲んでるのが　わかった。サイボーグになった　キャッシーは

動体視力も

桁違いにアップしてる

のにも　関わらず

残像から

繰り出される

蹴りにより

一撃で　キャッシーの変身は　とけた

その時

残像は　真の姿を現した

サングラスでホストみたいな格好だが

肩に蜘蛛のタトウと　蛇のタトウが　刻まれてあつた。

身の毛もよだつくらい

邪悪なエナジーに

包まれていた！

「お前と　オレの決戦場は　我がパンドラ王国に　まつわる

地獄で　決着を　つけるのだ」

急に　骸骨が　散らばった　溶岩のような　熱い地面

赤く暗い世界

に　連れ去られたキャッシー

「ここは　我がパンドラが呼び出した

世界さ

本気になれよ

俺を倒さねば

近い将来　地上は我らのものだ

まずは　東北大地震　そして

富士山噴火だ　八八八は八八八」

キャツシーは  
怒りから 遂に  
巨大な竜神となり  
愛の天使と名乗る  
邪悪な男に  
エネルギーの魂 を 口から吐くが  
全てバリアされている。  
「これが 惑星ジュピターの宇宙の能力者の 実力か  
せるな」  
愛の天使は、 真っ赤な体になり  
体から  
凄まじいばかりの妖気を出し  
一瞬で 竜神キャツシーの 額に  
膝蹴りを くらわした。

「これが 地上を 支配 しよつとする  
… パン ドラか…」  
まだ 息があるなあ しぶといやつめ  
愛の天使は、  
強力な握力で

キャツシーのクビを 絞める！  
「隆一よ いつの日か パンドラ王国愛の天使を 滅ぼ  
してくれ」

心の中で そう叫んで  
キャツシーは 息絶えた！  
愛の天使は  
悪魔の翼を広げて 上空に消え去った。

翌朝

「キャツシーが死んだる」  
父が

早乙女一家に  
知らせる

母は キャッシーが

ベロ出して 急死してるのに

嘆き悲しんだ

「 歳だから キャッシー死んだんよね 」

そう 早乙女隆一の両親は

言ってたが

隆一は 気づいた

キャッシーは

何者かに殺されたに 違う

そう オレと 会ったことがある

オレを陥れた

あいつ 中島レイキ やつに 違う やつのせいで

裁判になったし

兄が えらい ことになってるし

うぎゃああああああああああ

隆一は、

直感が

働き 叫びまくり

放心状態に陥った。 確かに、宇宙犬キャッシーが覚醒すれば

宇宙犬キャッシーと共に 東北大地震などは 防げは しないが

被害は 最小限に

抑えられたであろう また キャッシーや 隆一は

有名人となれたであろう

だが

いつの日か

有名人となり

宇宙犬キャッシーについて 書に記してほしい

愛の天使 中島レイキを 滅ぼしてほしい 物語は、



いよいよ

黒幕が わかってきた とこで

この話は

おしまい

再び

摩訶不思議な

夢の 話に

続いていく

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5605y/>

---

夢不思議アドベンチャー

2011年12月7日23時48分発行